

宮川ダムNEWS



令和6年3月号

発行：宮川ダム管理室
電話0598-78-3221

宮川ダムの取り組みや情報をお知らせする「宮川ダムNEWS」です。

【令和5年度 ダム放流について】

今年度、宮川ダムでは合計2回のダム放流を行いました。

	【放流期間】	【原因】	【総雨量】
第1回	8月 8日 ~ 18日	台風6号・7号	1,267mm
第2回	8月23日 ~ 25日	低気圧	293mm

ダムに流れ込む水量(流入量)の一部をダムに貯め、ダムから放流する水量(放流量)を抑えることにより、下流の増水を緩和させました。



【河川環境改善(土砂還元)の取り組みについて】

令和3年3月にダム直下に置土した約4,000m³の盛土は、令和5年8月末までのダム放流により、概ね、全量が下流へ還元され、調査の結果、桧原橋までの間に約3,200m³が淵のくぼみ等に堆積しています。土砂が流下した区間は、土砂混入した流水により、クレンジング効果が高まり、古い藻類が剥離していることが確認され、今後、新鮮な藻類の発育する基盤が生成し、多様な魚類の生息環境が広がると考えられます。

今後も引き続き、モニタリング調査を継続し、河川環境の把握を行います。

また、置土流出結果の効果を現在検証中であり、より効果的な置土計画の検討を進めています。

岩井口置土 流下状況

置土直後の状況



令和3年3月撮影

流出後の状況

概ね、全量(約4,000m³)が流下



令和5年11月撮影

桧原橋上流



6月

11月



大杉谷橋上流



6月

11月

久豆警報所付近



6月

11月